



今月の表紙

今月の表紙は、6月18日に開かれた「カルガモクラブ大運動会」参加者の皆さんです。

運動会では、「ハイハイ」レースや大玉ころがしなどの種目が行われ、子どもたちが大活躍しました。

お父さんやお母さんのもとへ一生懸命に「ハイハイ」する姿や、元気にかけっこする姿に、子どもたちの成長を見ることができました。

民生児童委員の皆さんの協力のもと開催したこの運動会では、アンパンマンやしょくぱんまんに変装した民生委員の方が会場を盛り上げ、子どもたちの安全や保護者の方々への気配りなどのサポートにより、楽しい運動会となりました。

<特集>

只見町「むし歯予防活動」の実施…………… 2～3

只見町「いきいき百歳体操」…………… 4～5

「第3回只見雪むろまつり」開催 ……… 6～7

《News&flash》

JR只見線 全線復旧で合意

ユネスコスクール認定 ほか …… 8～9

《町の話》

JR只見線応援チャリティーショー

只見町山開き ほか …………… 10～13

町民の健康な歯を守る！

只見町「むし歯（う歯）予防活動」の実施



▲仕上げ磨きが重要



▲(写真/朝日小学校)歯科衛生士による歯科教室でむし歯予防の指導



▲歯科衛生士と一緒にブラッシングチェック



▲染め出し液を塗った後にみがき残しを確認

福島県は、全国でもむし歯（う歯）が多い県と言われています。また、県内の市町村別にみても只見町は常にワースト10以内に入っています。このような状況を受けて町では、平成28年度からこれまで実施してきた歯科保健事業の強化を行っています。具体的には、子どもたちが生涯に渡って健康な歯を維持できるよう、①定期的な歯科衛生士によるむし歯予防指導②フッ化物歯面塗布③フッ化物洗口などのむし歯予防の活動を強化して実施しています。

今回は、このむし歯予防の活動についてご紹介いたします。

―はじめに―

歯科疾患は進行すると、ものがうまく噛めなくなる「咀嚼障害」や歯の喪失が生じ、「食べる」という最も大事なことだけでなく発語など全身の健康に影響を与えます。故に、歯と口腔の健康を保つことは、食事や会話を楽しむなど豊かな人生を送る基礎となります。

厚生労働省が実施する統計分析では、80歳代において歯の喪失が少なく、よく咬めている方は、生活の質及び活動能力が高く、運動、視聴覚機能に優れていることが明らかとなっています。

―取り組みでは、小児期におけるむし歯予防策を実施しており、日本全体では、乳歯のむし歯は減少かつ軽症化の傾向を示し、永久歯のむし歯も20代頃まで減少傾向にあります。しかし、13歳でむし歯になったことのある人は90%を超え、50歳代で歯周病になっている人は80%を超えます。また、歯の喪失は60歳代で半分に当たる14歯を失い、80歳代では約半数の人がすべての歯を喪失しているなど、課題も多いのが現状です。

―ハチマルニイマル運動

従来からの歯科保健対策の取

の基本方針―

高齢者は、歯の喪失が10歯以下であれば食生活に大きな支障を生じないという研究結果に基づき、生涯に渡り自分の歯を20歯以上保つことで健全な咀嚼能力を維持し、健やかで楽しい生活を過ごそうという「ハチマルニイマル運動」が推進されています。各ライフステージに応じた適切な虫歯・歯周病予防を推進することが重要です。

―只見町の現状―

只見町では、乳幼児のフッ素塗布など小児期におけるむし歯予防の取り組みを従来から行ってきました。しかしながら、3



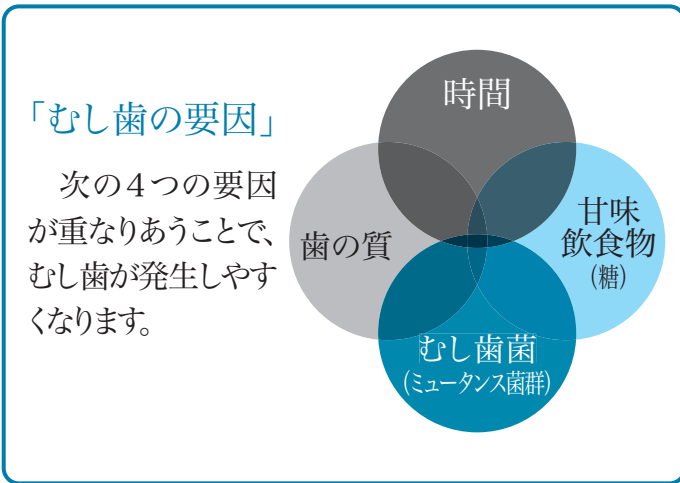
▲むし歯になりやすい・なりにくい食べものの指導



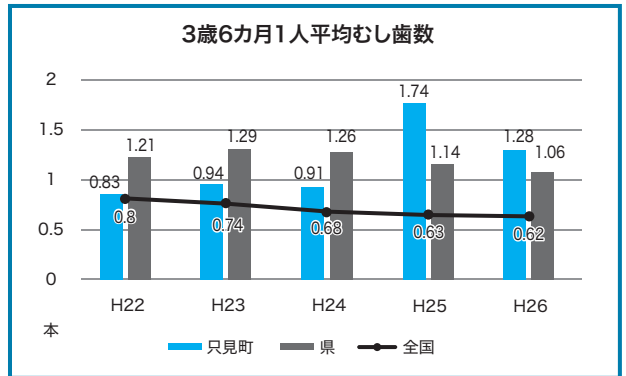
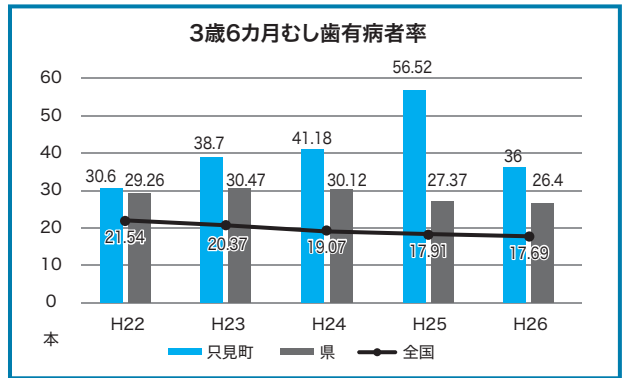
▲覚えたブラッシングを実践



▲(写真/朝日保育所)染め出し液を塗って磨き残しを確認する子どもたち



- 「口腔環境改善のための町の取り組み」**
- ① 歯科衛生士によるむし歯予防指導
 - ② フッ化物歯面塗布
 - ③ フッ化物洗口



従来から行ってきたフッ素塗布事業の継続と推進に加え、保育所でのフッ化物洗口を実施しています。これは、低濃度フッ素化合物がむし歯の発生を抑制し、歯の質を強化するという働きに着目し、低年齢から実施することでむし歯予防を図るためのもので、統計では、フッ化ナトリウムのむし歯抑制効果は子供時期で60%以上と言われています。また、今年度からは、「なぜむし歯になるのか」、「口腔の健康とは何なのか」などを学ぶための歯科教室を、保育所、小

学校、中学校において実施します。さらに、専門家によるブラッシング指導を行い、各年代において、歯の知識や適切な清掃法を身に付け、個々の状況に応じた歯口清掃指導を行います。これにより、生涯にわたる基本的な歯科保健習慣行動の形成を学び、健康な口腔維持のための生活習慣を身につける狙いがあります。自己管理に加えて専門家による歯石除去や歯面清掃、予防処置を併せて行うことが重要であり、保健センターやかかりつけ歯科医を活用し、定期的に歯科保健検査や、保健指導を受ける習慣を確立することが必要です。

— 口腔環境改善のための只見町の取り組み —

— 最後に —

正しい知識を身に着けるために、地域、学校、家庭、医療機関、行政機関などが連携し、これらの事業を着実に推進して、むし歯のない町、高齢者の歯の喪失者が少ない元気な町を目指します。

◆問合せ先

朝日診療所 歯科・保健福祉課
(筆者) 歯科医 齋藤さゆり

80歳を超えてからでも体力がつく効果的な体操

只見町「いきいき百歳体操」の取り組み

皆さんは「いきいき百歳体操」をご存じでしょうか。この体操は高知県高知市が平成14年に開発したもので、日常生活でよく使う腕や足などの大きな筋肉を鍛える高齢者向けの介護予防体操です。体操の効果は大きく、まず「筋力」がつき、そして筋力がついたことにより体が軽くなり、転倒しにくい体になるなど介護予防につながっていきます。今では日本全国約5千会場で実施されており、福島県内でも導入する自治体が増えたことから只見町でも平成28年度から導入いたしました。

今回は、この只見町の「いきいき百歳体操」の活動についてご紹介いたします。



▲(写真1)映像を見ながら「いきいき百歳体操」を実践する皆さん



◀説明会でのアドバイザーの百歳体験の様子

— いきいき百歳体操を —

導入した背景

これまでの町の介護予防事業は、保健師が運動機能向上を図る教室などを開催する「町主体」で実施してまいりました。しかし、運動教室卒業後に継続可能な教室がないため、十分な効果が得られませんでした。

そこで町では平成28年度より、住民運営による継続的な教室の実現を目指すため、「住民主体」で通いの場を構築する国のモデル事業「地域づくりによる介護予防推進支援事業」を受け、介護予防に高い効果を得られる高知県高知市が開発した「いきいき百歳体操」を、町で取り入れることにしました。この「いきい

き百歳体操」の効果を知っていただくため、国・県からのアドバイザーによる町民向けの説明会を実施し、実際に体操を体験していただくなど、その効果を理解していただくことからスタートしました。

— いきいき百歳体操とは —

この体操は、「イス」や「おもり」、映像を見るための「テレビ」が必要になりますが、これらが揃えば、自身で実施することも可能な体操になっています。写真1の体操は、DVDの映像を手に、「おもり」を使ってみんなで行う筋力運動です。体操の内容によって腕や足に「おもり」を取り付け、「おもり」は自分に

測定項目	実施前(平均)	実施後(平均)	備考(測定値の平均年齢81歳)
開眼片足立ち	16.9秒	27.0秒	平均で10.1秒長くなりました
握力(右)	19.8kg	21.9kg	平均して2.1kg強くなりました
握力(左)	18.4kg	20.4kg	平均して2kg強くなりました
歩行速度	9.5秒	8.5秒	平均して1秒早くなりました

▲「表1」体力測定(実践前・実践後)の結果



「表2」布沢地区の方々の声

- ・痛かった肩が痛くなくなった
- ・転ばなくなった ・寝起きが良くなった
- ・膝が痛くて歩くことができなかったが、歩けるようになった
- ・階段の下りでテンポ良く降りることができるようになった
- ・誰かの支えがなくても、1人で車に乗ることができるようになった など



▲「いきいき百歳体操」を実践された布沢地区の皆さん



▲手足をバランス良く動かします



▲「おもり」を装着

あつた重さで体操が行えます。週に1回程度、3ヶ月間継続することにより、歩くために必要な筋力が向上します。「いきいき百歳体操」は、週1回程度と開催頻度が多いため、今回希望していた布沢地区をモデル地域として実施することとなりました。

— 体力測定で効果を見る —

布沢地区では今年1月～3月までの3ヶ月間、既に実施しているサロンとは別に週1回「いきいき百歳体操」を実践しました。今回実施にあたり、運動の効果を把握するため、実施前と実施後に体力測定を行い、効果を確認しました。体力測定の結果は「表1」のとおりで、多くの参加者が筋力やバランス能力、歩行能力などに改善が見られ、高い効果が確認できました。

— いきいき百歳体操を 実践してみても —

「いきいき百歳体操」を始めたばかりの今年1月は、全員が同じ速さで揃って体操することができず、休みながら行っていました。しかし3ヶ月後には、「おもり」を使った状態でも、全員が揃った動きで体操ができるようになり、大きな変化が見られます。

した。また、運動を実施された方からは、「転ばなくなった」など「表2」のような喜びの声が聞かれました。

— 健康づくりの場から 地域のつながりの場へ —

3ヶ月間「いきいき百歳体操」を実践した結果、布沢地区の方々は、歩く力や体力が向上し、普段の生活のうえでも効果を実感できるようになりました。

特に、外出が少なくなる冬間に週1回実施したことで、みんなで顔を合わせる機会が増え、地域に笑顔が多くなりました。

このように「いきいき百歳体操」は、単なる健康づくりの場としてだけではなく、地域のつながりの場にもなっており、地域交流の向上につながっています。

「いきいき百歳体操」は小人数でも、集まった方々でできる体操です。隣近所が集まって実施することができると、このハートの低さも魅力のひとつです。只見町地域包括支援センターでは、今後さまざまな地区に広がっていくよう活動してまいります。

◆問合せ先

只見町地域包括支援センター

只見の雪を活用・JR只見線臨時列車をおもてなし

「第3回只見雪むろまつり」開催！



▲多くの方が訪れた会場

—只見雪むろまつり—

只見町雪むろ実行委員会が主催する「第3回只見雪むろまつり」が6月18日、JR只見駅前広場で開催され、約300名が来場しました。

雪むろは、今年2月に行われた「只見ふるさと雪まつり」の雪像に使われた雪を再利用し、雪まつりの入場門付近に作られました。雪むろの中には、日本酒「岩泉」、「泉太のどぶろく」、米焼酎「ねっか」、米、味噌、野菜などを約3ヶ月間貯蔵し、貯蔵品は雪むろまつり前の6月14日に取り出されました。

開会式では、実行委員会の吉津年浩会長が「約3ヶ月間雪むろで寝かせた味を堪能して欲しい」と挨拶し、菅家町長が「只見の特徴である雪を活用したこのイベントは地域振興を図る上で重要であり、益々の発展を期待します」と祝辞を述べました。



▲大凧を上げる三条凧協会の皆さん



▲快速「只見線山菜満喫号」と新潟県在住の1日子ども車掌の皆さん



▲バルーンアートを披露するピエロのナナさん



▲雪むろ貯蔵の酒・野菜などを振る舞う実行委員会の皆さん



▲子どもたちに大人気だった除雪車試乗体験



▲弾き語りを披露した只見中学校3年「渡部美依」さんのライブ

新潟駅と只見駅間を走る臨時列車・快速「只見線山菜満喫号」が6月17～18日の2日間運行され、只見駅でもおてなしが行われました。おてなしは、町観光まちづくり協会や商工会、季の郷湯ら里、町観光商工課が実施し、甘酒・どぶろく・山菜汁の振る舞いや抽選会、町の名所の周遊やわらび折りが体験できるタクシープランなどが用意され、乗客の人気を集めました。18日は雪むろまつりも楽しむことができ、利用者は只見町を満喫することができました。

まつりでは、貯蔵品の振る舞いや販売の他、新潟県三条凧協会の皆さんによる凧上げ、ピエロのナナさんによるバルーンアート、アコースティックライブ、かき氷早食い大会、寄席、宝生流只見謡曲研究会松楓会の皆さんによる謡、除雪車試乗体験など多くの催しが行われました。また、会場には近隣市町村から多くのキッチンカーも並び、来場者は多彩な催しと味を堪能しました。

— 快速「只見線山菜満喫号」おてもなし! —

2021年度中の再開通を目指す。

「JR只見線」全線復旧で合意!

平成23年7月の新潟・福島豪雨で不通となっていたJR只見線・只見駅と会津川口駅間(27・6キロ)の復旧に向けて、福島県とJR東日本は6月19日、県が鉄道や駅舎など鉄道施設を保有し、JR東日本が列車運行を担う「上下分離方式」で復旧させる基本合意書と覚書を県庁で締結しました。

これにより只見線は、2021年度中の再開通を目指し、JR東日本が来春から工事に着手する予定です。

只見町では、県や只見線沿線市町村と連携し、復旧後の只見線利活用に向けた取り組みなどを検討しています。この只見線については、次号の特集で詳しくご紹介します。



▲再開通に向けてこれからも手を振り続けます

町指定の文化財に認定

「成法寺観音堂・木製巡礼納札」

6月23日、只見町梁取地区にある成法寺観音堂で発見された「成法寺観音堂・木製巡礼納札」が、町指定の文化財に認定されました。

この巡礼札は、昭和40年10月、昭和41年12月に行われた成法寺観音堂の修理の際に堂内の長押裏側から発見されました。今回の指定理由は、県内で会津美里町富岡観音堂、田村郡船引町堂山王子神社に次いで古い納札であること、「熊野州三」の表記が全国的にも希有な表記であること、保存状態が良く永正時代のもので風化せず貴重であることなどがあげられます。今後は、県指定の文化財を目指し、只見の歴史を読み解く資料として活用されます。



【銘文】
永正九年 申 八月廿二日
熊野州三所巡礼
奥州会津長沼郷伊北住人妙金

▲永正9年(1512年)に書かれた巡礼札

朝日小学校に続き、只見・明和小学校と只見中学校が正式認定

町内小・中学校全てが「ユネスコスクール」に認定!

今年5月、ユネスコ(国連教育科学文化機関)は、ユネスコスクールに申請していた只見・明和小学校と只見中学校の3校を新たに正式認定し、既に平成26年に認定されている朝日小学校とともに、町内全ての小・中学校がユネスコスクールとなりました。

ユネスコスクールとは、ユネスコ憲章の理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校のことです。文部科学省や日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールを「ESD(持続可能な開発のための教育)」の推進



▲加盟承認証を手にする関根只見小学校長(左)、小林朝日小学校長(中左)、渡部明和小校長(中右)、今井只見中学校長(右)

拠点として位置付けています。この「ESD」とは、困難な問題を考え、解決するための学びであり、持続可能な社会の担い手を育む教育のことです。各学校では「ESD」を只見学によって「只見愛」を育む教育ととらえ取り組んでいます。

只見小学校では、「海とつながる只見町」をテーマに学習を行うことから、東京大学の海洋教育のモデル校として連携して取り組んでいきます。ユネスコスクール認定3年目を迎えた朝日小学校では、町の「人・もの・こと」に直接触れる学習により「只見愛」を育み、生涯に渡って主体的に学び続ける態度の育成を実践しています。明和小学校では、伝統芸能の継承学習を中心に、地域の自然・文化・産業の学びを実践しています。只見中学校では、各小学校で培った「只見学」を踏まえ、只見からより広い世界や社会全体を考え、地域や社会に貢献する人材育成に資する教育を推進していきます。

このような取り組みを通して、ユネスコエコパークに認定された只見町の自然や歴史、文化についての理解を深め、伝統芸能の継承に取り組んでいきます。

9期生「アウトドアプランナーの育成」
人材育成ダイヤモンドプラン開講

6月7日、教育委員会が主催する「地域人材育成ダイヤモンドプラン事業」第9期生の開講式が只見町振興センターで開かれ、関係者などが出席しました。第9期生13名は、「アウトドアプランナーの育成」をテーマに、2年間の講座の中で、自然の中で活動するための企画・立案を行い実践できる野外活動のリーダーを目指します。

開講式では、角田行雄教育委員長と菅家町長が「皆さんに期待しています」と挨拶を述べ、受講生の決意表明では「世の中に只見町の素晴らしさを伝えられる人材になりたい」などとそれぞれ抱負を発表し、今後の取り組みへの期待が膨らみます。



▲開講式終了後には、1回目の講座が開かれ只見町の観光について学びました

手作りパンフレットで町をPR
町内3小学校が東京へ修学旅行

6月7〜8日、町内3小学校の6年生27名は、合同の修学旅行で訪れた東京上野公園などで只見町のPR活動を行いました。この活動は、2年前に明和小学校が始め、昨年からは町内3校合同で行っています。黄色い法被を身につけた子供たちは、町の魅力を紹介した手作りのパンフレットなどを道行く人に声を掛けて配り、「生懸命PRしました。中には「今度只見に行ってみよう」と話す人もおり、児童たちは活動を通して郷土の魅力を再確認しました。

後日、パンフレットを受け取った方からは、礼儀正しく「生懸命PRする児童たちに宛てた応援のメッセージが届きました。



▲手作りパンフレットを配る明和小学校児童

水墨画の魅力を伝える
只見小学校で水墨画教室を開催

6月16日、国宝や重要文化財を数多くもつ大阪の「正木美術館」元館長で、水墨画を研究する美術史家・高橋範子先生の水墨画教室が只見小学校で開かれました。

今年で4年目となる高橋先生の教室は、高橋先生が持参した福島県にゆかりのある画家「雪村」が描いた、岩に座る老人・李白が滝を眺める絵「李白観瀑図」の貴重な水墨画を眺め、1〜3年生はその絵の滝の流れを描き、4〜6年生は岩に座り滝を眺める李白を描きました。児童たちは、高橋先生に習いながら上手に水の流れを墨のかすれや筆使いなどによって表現し、水墨画の魅力に触れることができました。



▲高橋先生に筆使いを習う児童の皆さん

朝日小児童の「只見愛」を育成
朝日小学校で「あすなる学級」

6月23日、地域と児童が交流を深める「あすなる学級」が朝日小学校で行われ、地域の方々5名が来校し全校児童と交流しました。

この事業は、朝日振興センターと朝日小が連携して行っており、地域の方々との交流を図りながら地域の良さを再発見し、「只見愛」の育成（ESD）を目的に取り組んでいます。

来校された地域の方々が講師となり、児童たちは低・中・高学年に分かれ、昔話や昔遊び、只見の自慢カルタを使ったカルタ遊び、手縫いによるぞうきん作りなどを学び、地域の文化に触れることで、「只見愛」を深めることができました。



▲(写真/1・2年生)講師の菅家ツヤさんと一緒に草笄を作る児童の皆さん

「蒲生岳」・「会津朝日岳」・「浅草岳」

只見ユネスコエコパークの山開き開催

6月、只見4名山のうち「蒲生岳」、「会津朝日岳」、「浅草岳」の山開きが行われ、それぞれ多くの登山者が只見町を訪れました。

蒲生岳の山開きでは、とがった山の姿から「会津のmatterホルン」と名付けた登山家・田部井淳子さんが昨年亡くなられたことを受け、開山式で黙とうがささげられ、田部井さんの夫、政信さんとともに追悼登山が行われました。



▲蒲生岳(6月4日)約150名参加



▲会津朝日岳(6月11日)約200名参加



▲浅草岳(6月25日)約300名参加

地域の魅力再発見!

春のウォーキングイベント開催

町内3地区で春のウォーキングイベントがそれぞれ開かれ、多くの方々が参加しました。

今回、只見地区は只見川沿いを歩き只見湖を望むコース、朝日地区は黒谷集落を散策し寺社など歴史を学ぶコース、明和地区は恵みの森で沢歩きをしながら自然を満喫するコースで行われ、参加者は新緑を楽しみ、地域の魅力を再発見しました。ゴール後にはとん汁が配られた他お楽しみ抽選会が催され、参加者はイベントを楽しんでいました。



▲只見地区「只見町民ハイキング(5月28日)」
(写真/青少年旅行村をスタートする皆さん)



▲朝日地区「さなぶり健康ウォーキング(6月4日)」
(写真/八所神社で歴史にふれる皆さん)



▲明和地区「明和ふるさとハイキング(6月11日)」
(写真/恵みの森で沢歩きをする皆さん)

ユネスコエコパーク関連事業

「自然首都・只見」学術調査研究 助成金事業の助成テーマ決定!

平成29年度「自然首都・只見」学術調査助成金事業は、只見町の自然環境や生物多様性、さらに歴史や民俗について、その価値を科学的に明らかにすることによって「自然首都・只見」ブランドの向上を目指すものです。今年度内に研究成果の発表会を開催し、研究者との交流を行う予定です。

今回は9件の応募がありましたが、審査の結果、下記の6件について助成を行うことが決定しました。



▲昨年度1月に実施した研究成果発表会

テーマ	助成研究者代表	所 属
ブナの葉は尾根と谷で異なるのか？ —局所スケールにおける樹木形質の変異—	後藤 亮仁	横浜国立大学
多雪地域におけるブナの個体間・ 個体内での展葉フェノロジー	西坂 志帆	横浜国立大学
只見地域の水生生物に関する分子系統地理学的研究	東城 幸治	信州大学
只見地域における森林植生の遷移系列・ 動態と攪乱様式	菊池 賢	希少種保全研究会
中期中新世布沢層の花粉と 葉化石から復元する只見の古植生	西田 治文	中央大学
ヒメサユリ野生集団の遺伝的多様性解析	山本 将	明治大学

この事業は只見町ブナセンターと連携して行われます。町内で只見町ブナセンターの腕章やステッカーを付けた研究者や車両を見かけましたら、本事業による調査研究ですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

〈問合せ先:総合政策課 地域振興係 ☎82-5220〉

福島民報社のプロジェクト

瀧神社に町の花「コブシ」の苗木を植樹

6月2日、福島民報社の主催で県内59市町村をリレー形式で植樹する「ふるさと大好き59市町村応援プロジェクト」が行われ、町の花「コブシ」の苗木をJR只見駅近くの瀧神社に植樹しました。このプロジェクトは福島民報創刊125周年記念事業の一環で、平成30年に南相馬市で開かれる全国植樹祭との連携事業です。植樹式当日はあいにくの天候により「森林とのきずなづくり植樹リレー」のプレート引継ぎ式を只見保育所で行いました。長谷部多一只見区長や只見保育所の園児たちが見守る中、福島県を模ったプレートに木ピンが差し込まれ、そのプレートを菅家町長が受け取り、引継ぎ完了となりました。



▲参加した菅家町長、長谷部只見区長、只見保育所児童の皆さん

落語の魅力にふれる

みな川「落語会vol.2」開催!

6月10日、旅館みな川が主催する「みな川plus ONE落語会vol.2」が同旅館で開かれ、昼・夜の部あわせて約200名が来場しました。

落語会には、今回2回目の出演となる立川流真打「立川こしらさん」と、今回初出演となるお笑い番組でもお馴染みの月亭一門「月亭方正さん」が公演しました。昼の部では落語に対する思いなどを語ったトークセッション、夜の部では巧みな話術で人々を魅了する落語が披露され、会場は爆笑の渦に包まれ、落語の魅力に触れることができました。



▲落語について語るこしら師匠(左)、方正師匠(右)



▲来場者と交流を深めるこしら師匠と方正師匠

チャリティーショー



▲募金箱を手渡す角田初美さん(左)と受け取る菅家町長(右)

第5回頑張ろう東日本!

JR只見線応援チャリティーショー

6月18日、夢広場が主催する「歌と踊りのチャリティーショー」が季の郷湯ら里で開催され、昼の部・夜の部あわせ、約250名が来場しました。

このチャリティーショーは、JR只見線全線復旧を応援するために毎年埼玉県八潮市で行われているショーを、今回初めて只見町で開催しました。チャリティーショーでは、町民などが出演した歌と踊りの歌謡ショー(昼の部)と、演歌歌手の佐々木新一さんなどによるディナーショー(夜の部)が行われました。そして会場などで集められた只見線応援募金「36,462円」が、夢広場の角田初美さんから菅家町長に手渡されました。

只見中学生が各種目で大活躍!!

「全会津中体連総合体育大会」開催

6月13日、全会津中体連総合体育大会が会津地区の各会場で行われ、只見中学生が次のとおり好成績を収めました。この後、7月21～25日に開催される県大会での活躍が期待されます。

◆剣道	・男子団体	ベスト8
	・女子団体	3位 (県大会出場)
	・女子個人	1位 馬場菊(県大会出場)
		2位 馬場遊茶(県大会出場)
◆バレーボール		1位 (県大会出場)
◆卓球	・女子団体	3位 (県大会出場)
	・女子個人シングルス	3位 服部杏奈(県大会出場)
		3位 小林聖佳(県大会出場)



▲県大会での活躍を誓う只見中学生
(左から剣道部、バレー部、卓球部)

地域との交流を深める 桜の丘みらい「春祭り」開催

6月10日、小規模多機能居宅介護事業所の桜の丘みらいが主催する「春祭り」が原地区の同施設で開かれ、多くの方々が参加しました。祭りでは、コーラスはなみずきの美しい歌声や三つ葉会の華麗な踊り、只見高校生ボランティア部による力強いヨサコイが披露された他、焼きそばやフランクフルト、わたあめなどが振る舞われ、親子連れに人気を集めました。最後に行われたビンゴ大会では会場が盛り上がり、地域住民との交流が深められました。



▲春祭りで美しい歌声を披露した「コーラスはなみずき」の皆さん

旬の山菜を堪能 「山の幸山菜まつり」開催

6月4日、塩沢区・十島区山菜まつり実行委員会が主催する「第21回山の幸山菜まつり」が塩沢農村公園で開かれ、町内外から約200名が来場しました。開会式で岩淵民男塩沢区長は「旬の山菜を堪能して欲しい」と挨拶し、会場ではわらび、ふぎ、うどなどの山菜や山菜のてんぷらそばの他、6年ぶりにアカハラの塩焼きが販売されました。また、山菜汁や地酒などの振る舞いも行われ、訪れた来場者は只見の旬の味を堪能していました。



▲多くの人で賑わった山菜まつりの会場

人材育成ダイヤモンドプラン8期生 オープン講座「小笠原流に学ぶ」

6月7日、人材育成ダイヤモンドプラン8期生のオープン講座「小笠原流に学ぶ」が開かれ、受講生や一般参加者多数が参加しました。

講座では、郷土料理研究家の平出美穂子先生を迎え、只見町に多く残る小笠原流の巻物をもとに、結婚式の料理を作る際のルールや礼儀作法などを学びました。平出先生は「これだけ多くの小笠原流の巻物が残る地域は珍しい。町の食文化を継承してほしい」と話されました。



▲江戸時代の料理作法「折形の礼法」などを参加者に伝える講師の平出先生

ジャズで町の音楽振興を図る 「ジャズナイトin只見」開催

6月21日、教育委員会主催の「ジャズナイトin只見」が季の郷湯ら里で開かれ、町内外から約100名が参加しました。イベントでは、プロアーティストの指導が受けられる吹奏楽器体験とジャズライブが行われ、プロの見事な演奏に来場者は魅了されました。また翌日、只見中学校でアーティストによる音楽授業が行われ、サプライズでジャズ演奏の校歌が披露され、生徒たちは音楽への興味を深めました。



▲来場者を魅了したプロアーティスト5名によるジャズライブ（ジャズナイトin只見）

6月から新しい看護師さんが着任しました!

6月1日から9月30日まで朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の山本和香さんです。山本さんは大学時代にアルバイトをしていた整骨院で、治療により元気になっていく患者さんを見て、自分も患者さんを元気にしたいという思いから看護師になりました。朝日診療所に来て感じたことは、患者さんとスタッフの距離が近く、地域に密着していることがとても魅力的だったそうです。「分からない部分が多くあるので頑張っていきたい!」と話す山本さんをどうぞ宜しくお願いいたします。



山本 和香さん
(出身/京都府)

広報ただみ診療所

朝日診療所

所長 若山 隆



「皆さまへのお知らせ」

只見の皆さんこんにちは! 所長の若山です。

去る5月22日~6月半ばにかけて、イギリスからソフィー先生とソニア先生が朝日診療所に来られ、一部の町民の皆様にはインタビューなどで大変お世話になりました。無事ソフィー先生は只見での研究を終え、母国に戻られました。短い滞在期間でしたが只見町の自然、食事、人の温かみなどを大変気に入っていただき、楽しんでいただくことができました。ご協力いただいた皆さまに改めて感謝申し上げます。

さて、今回は皆さまにお知らせしたいことが2つあります。1つ目は、日中なかなか忙しくて受診する時間がない方などのために火曜日の夕方に内科外来を開くことになりました。これは診療所歯科の火曜夕方外来と似たものです。7月11日の火曜日以降、原則17:30~18:30で予約された方のみとなりますが、診療させていただきます。あいあい薬局にもご

協力いただいております。お薬もその日に受け取ることができます。しかしながら当日の会計は難しいので、お手数ですが会計は後日でお願いいたします。雪んこタクシーも夕方の運行予定はありませんので、その点もご容赦ください。すでに予約受付は開始しておりますので、診療所までお問い合わせください。ご都合の合う方はぜひご利用をお待ちしています。

2つ目は、7月~9月の3か月間、朝日診療所に新しい先生が来られ、お名前を「関 匡史」先生といいます。関先生は長野県出身の先生で、将来は只見のような山村で地元の医師として働くことを考えておられるそうです。そこで、将来の勉強のために只見町の医療体制などについて学び、将来に役立てたいと考えているそうです。外来などで皆様と接することもあるかと思しますので、なにとぞ宜しくお願いいたします。

地域おこし協力隊として 只見町観光振興協力隊

vol.32

やましな まい
山科 麻伊



「町のインバウンド旅行者」

只見町に移住して、1年と2カ月が過ぎました。この間、色々な方にお声がけやお気遣いをいただきました。これまでやってこれたのも皆さまのおかげです。ありがとうございます。

さて、今年は只見町のインバウンド旅行者(外国からの旅行者)の増加に向けた活動を行っていく予定です。私は、昨年度は観光協会の窓口に立っていることが多かったのですが、そこで気づいたことがひとつあります。それは冬季“週1ペースで外国人旅行者が只見線に乗って来ている”ということ。台湾やタ

イの団体客は県や奥会津地域でも力を入れていますが、個人客では欧米系の方をよくお見かけします。その理由は日本の田舎や自然、真っ白な雪、そして只見線。派手なスキー場や一大温泉地はないけれど、そこにはないノスタルジー(望郷・郷愁)を感じさせるからなんだろうなと感じています。国籍問わず、「旅すること」の本当の目的はそういった目に見えない満足感なのかな…というように思います。今年も只見のために頑張っ参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

町史

とっておきの話

276

只見町文化財調査委員会議長

飯塚 恒夫

いま残しておきたい只見とっておきの話 ③

―三石神社の芭蕉句碑と只見の俳人たち―

芭蕉の句碑が、縁結びの神として信仰を集める三石神社の参道脇に建っています。駐車場から鳥居をくぐり、一〇〇メートルほど登ったところにある苔むした自然石がそれです。長く風雪に耐えながら、なお残る深い彫り痕を見ていると、いにしえを静かに語りかけているかのようです。

秋農野や

草の奈可ゆく

水乃音

はせを

碑面にはこのように刻まれ、それ以外の文字は裏面にもなく、いつだれが建てたのか、句碑建立の経緯については、いまだ分かっていません。これだけの句碑を建てるには、少なくとも只見地方に、俳諧の愛好者が相当大勢いなければできないことです。しかし、只見地方に残る古



▲三石神社参道に建つ芭蕉の句碑

文書などの中からは、俳諧活動を知る資料は今のところ確認されていません。

ところが、新潟県の見附地方史研究会が、平成十年に復刻した『常磐集』という本の中で、幕末期の只見俳人が投稿していたのを発見したのです。これを知ったきっかけに、長い間の疑問が少しずつ分かってきました。『常磐集』は、見附で活躍した俳句宗匠の六合庵茶山が、天保一三（一八四二）年から、越後をはじめ

全国より俳句作品を募って出版した作品集です。天保一三年以降毎年編さんされており、文久元（一八六一）年まで二〇年にわたり発行されたものです。

只見地方の俳人たちは、この常磐集に嘉永年間から投稿しています。俳諧史の上では、寛政から幕末までを後期俳諧の大衆化時代と言われます。会津地方ではこの時期、若松や喜多方を中心に活動がさかんでしたが、周辺の地域は、柳津・田島あたりまでが交流範囲で、只見地方は俳諧の空白地帯となっていました。この発見によって、只見地方は経済ばかりでなく文化活動においても越後の文化圏と深く交流していて、会津俳壇とは別に独自の活動を展開していたことが分かったのです。



▲只見の俳人が投稿していた『常磐集』

ん。しかし、中には「叶津・越境關」のように、叶津番所の長谷部氏と推定できるものもあります。本に載っている名前のすべてを記載してみます。

只見の雪幸・梅松・雪花・草季・万花・蓬勢・梅子・野中・梅柳・盛山・初女・梅願・梅朝・梅什・萩哉・研斎・研龍・研海・聲水・月西・幸女・其璞・研玉・紫濤・啓処・文常・澄秋・可翠・旭湖・研魯・雪尾・川月・庭松、叶津の越境關、田子倉の春月、石伏の石浅・石洲、田ジマの亀松、丹藤の豊湖。

以上の三九人が投稿していますが、本名の分る方がおりません。教えていただきたいと思

このように、幕末期の只見地方に三〇人余の俳人が活躍していたことは確かです。そこから、冒頭の芭蕉句碑建立に只見地方の俳人たちが何らかのかたちで関わったであろうことが容易に推測されます。

この只見俳壇の活動は、見附の茶山と交流する以前に、大白川新田の庄屋浅井氏との交流があったと思われます。浅井氏とは八十里越・六十里越を通じ古くから只見と深い関係があり、浅井氏は俳号を旭川と号し、文化年間に「旭川舎」を結んで小出郷の俳諧指導にあたっています。只見俳壇の活動期がこの時期と重なることから、只見俳壇の誕生には、少なからず浅井氏の影響があったと思われます。

また旭川舎連は、天保一四（一八四三）年に芭蕉翁百五十年忌を修し、入広瀬に「芭蕉句碑」を建てています。見附・栃尾でもこの年建てています。なお、この年は八十里越の大改修が行われた年で、両地方の交流がもつともさかんな時期でもありました。三石神社の芭蕉句碑は、ひよっとすると、この時期に建立が計画されたのかも知れません。



町民文芸

只見短歌会 五月詠草

外国に出張中の長の子より母の日にと小包届く
古川 英子

前山の櫛の若葉の萌え初め待ちあし我は馬鈴薯植ゑる
馬場 八智

入所前母が日毎に頼りあし昇降座椅子空きて久しき
新国 由紀子

児童数五十余名の運動会晴れて新緑共に輝やく
関谷 登美子

常に持つ健康保険証忘れしを出先に気付き不安がよぎる
目黒 富子

初給料と五人の孫が贈りくれ五色の牡丹の苗木を求む
渡部 ゆき子

光る葉と紅き花とを浮き出し朝日さす庭雪椿立つ
小倉 キミ子

苗箱を洗ふ畔の草の中薄紫のすみれ群れ咲く
渡部 ヨリ子

入院のわれの食事に来る娘ばたばた早き足音でわかる
新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会 六月例会

目黒十一 指導

雨燕一気に雲を断って去る
路の葉で汲む山清水石の径
さちを

雀の子これぞスズメノカタビラぞ
楓の芽揺れ雨音の増さりけり
礼

水芭蕉すれ違う人皆笑顔
残雪に屍もちついて空の青
信

トマト植え田植えも終りお早苗饗
川土堤のニセアカシアの香を受けて
穂

種いもの頭すっぱり切り落す
バス停にバスは止まらず梨の花
都

夏来たるカツ定食や村旅行
夏帽子話題次々村旅行
修一

桜まじほつと息つく旅の宿
小満やひねもす唸る耕運機
味代子

涼しさや古びしままのさざえ堂
夕鴉なぜに鳴くかと仰ぐ空
敦子

薰風や木洩れ日ゆらし蘆花の詩碑
皴の手をピンクに染めて梅漬ける
弘子

盤切の産湯を散らし初夏の朝
若葉風さやか返納車椅子
吉見



今月の お知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
総合政策課	
地域振興係 広報広聴係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林振興課	
農政係 林政係	☎82-5230
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
環境整備課	
地域整備係	☎82-5270
生活環境係	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

試験

只見町職員
(高卒程度・一般事務職)
採用候補者試験を行います

次のとおり、平成30年度只見町職員(高卒程度・一般事務職)採用候補者試験を行います。

●試験職種及び採用予定人員

・一般事務職 若干名

●受験資格(学歴不問)

平成5年4月2日から

平成12年4月1日までに

生まれた者

●試験の方法

①1次試験

教養試験及び一般性格診断検査、

職場適応性検査、事務適性検査

②2次試験(1次試験合格者)

小論文、面接による試験

●1次試験の日時、会場

①日時

・9月17日(日)

・午前9時受付〜午後2時30分

②会場

福島県立田島高等学校

(南会津町田島字田部原260)

●受験手続き及び受付期間

①申込用紙の請求

申込用紙は役場総務課及び朝日、

明和振興センターで交付します。(

郵送による場合は、120円切手

を貼った自分宛返信用封筒角2

号を添付すること。)

②申込方法

申込用紙は役場総務課に持参又

は郵送により提出する。(いずれの

場合も82円切手を貼った自分宛の

返信用封筒長3号を添付するこ

と。)

③受付期間

平成29年6月19日から8月10日

まで。(郵送による場合は、8月8

までの消印のあるものに限る。)

●問合せ先

只見町役場 総務課 総務係

☎0241(82)5210

南会津地方広域市町村圏
組合職員採用候補者試験
(高卒程度)

次のとおり、平成30年度南会津地

方広域市町村圏組合職員採用候補

者試験(高卒程度)を行います。

●試験職種・採用予定人員

・消防 男女若干名

※消防署等で消火・救急・救助火災

予防等の業務に従事します。原則

として深夜業を含む交代制勤務

となります。

●受験資格(学歴不問)

①平成2年4月2日〜

平成12年4月1日までに

生まれた者

②普通自動車運転免許(AT限定免

許を除く)の取得者又は取得見込

者。

③日本の国籍を有する者

④地方公務員法第16条

(欠格条項)に該当しない者

●試験の方法

①第1次試験(高卒程度)

教養試験及び適性検査

②第2次試験(1次試験合格者)

・個別面接及び作文試験

・体力測定

・身体検査

●試験の日時、会場

①第1次試験

9月17日(日)午前9時受付

②会場

福島県立田島高等学校

(南会津町田島字田部原260)

●受験手続き

申込み用紙は、南会津地方広域市

町村圏組合事務局、消防本部・本署、

消防署各出張所・分遣所で交付しま

す。必要事項を記入の上、事務局まで

提出して下さい。

●受付期間

7月12日〜8月10日まで(勤務時

間に限ります)。郵送の場合も8月

10日必着です。

●問合せ先

詳しくは、南会津地方広域市町村

圏組合事務局まで

☎0241(62)0054

南会津地方環境衛生組合
採用候補者試験(高卒程度)

次のとおり、平成30年度南会津地
方環境衛生組合職員採用候補者試
験(高卒程度)を行います。

●試験職種・採用予定人数

・技能労務職 若干名

●受験資格(学歴不問)

①昭和57年4月2日〜

税 今月の納期

7月26日までに

納めましょう

- 固定資産税(2期)
- 国民健康保険税(1期)
- 農集排使用料(7月分)
- 介護保険料(1期)

平成12年4月1日までに生まれた者

②日本の国籍を有する者

③地方公務員法第16条(欠格条項)

に該当しない者

●試験の方法

①第1次試験(高卒程度)

教養試験及び各種検査

②第2次試験(1次試験合格者)

小論文及び個別面接

●試験の日時、会場

①第1次試験

9月17日(日)午前9時受付

②会場

福島県立田島高等学校

(南会津町田島字田部原260)

●受験手続き

申込み用紙は、組合で交付します

ので、必要事項を記入の上、提出して

下さい。

●受付期間

7月12日〜8月10日まで(勤務時

間に限ります)。郵送の場合も8月

8日までの消印のあるもの限り受

け付けます。

●問合せ先

南会津地方環境衛生組合 総務課

☎0241(67)2480

JA会津よつば組合長杯ソフトボール大会で只見スポ少が優勝!

6月17日、JA会津よつばみなみ地区主催の「JA会津よつば組合長杯チビッコソフトボール大会」が南会津町のびわのかげソフトボール場で開催され、只見スポーツ少年団が見事優勝を飾りました。

12チームが出場した大会で只見スポ少は、初戦の田島スポ少女子チーム戦に3-2、準決勝の下郷ジュニアソフトボールチーム戦に1-0、決勝の館岩ベアーズBチーム戦に6-5と接戦を勝ち抜き優勝を手にしました。

只見スポーツ少年団の今後の活躍が期待されます。



▲優勝した只見スポ少の皆さん

福島県国際交流協会より

外国出身者のための「無料相談窓口」のお知らせ

福島県国際交流協会では「外国出身者のための無料相談窓口」を開設しており、電話やメール、FAX、来所などで相談できます。秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。また、外国出身者が行政窓口で手続する場合など、電話で通訳することもできますのでご利用ください。(通話料はかかります)

●対応言語と対応曜日・時間

①日本語、英語、中国語

火曜～土曜(午前9時～午後5時15分)

②タガログ語(フィリピン)、韓国語、ポルトガル語

木曜(午前10時～午後2時 ※第4、5木曜日は要予約)

●相談窓口 「公益財団法人 福島県国際交流協会」

・住所/福島市船場町2番1号 県庁舟場町分館2階

・TEL024-524-1316 ・Fax024-521-8308

・E-mail: ask@worldvillage.org

町長スケジュール

(6月分)

- | | |
|--|--|
| 1日 (福)南会津会理事会(南会津町)、
南会津地方広域市町村圏組合議会臨時会(南会津町)、
只見高等学校振興対策会議役員会 | 13日 只見町議会6月会議(～16日) |
| 2日 福島民報125周年事業「ふるさと大好き59市町村応援
プロジェクト」記念植樹式、
奥会津五町村活性化協議会決算監査 | 18日 雪むろまつり、頑張ろう東日本!つながれつながれ只見線
歌と踊りのチャリティーショー |
| 3日 ファミリーマートカップ全日本バレーボール小学生大会・
会津大会、
森まさこ国政報告会(会津若松市) | 19日 社会福祉協議会会長就任挨拶、
阿賀川河川事務所長来庁、ゼビオグループ来庁 |
| 4日 蒲生岳山開き、塩沢・山の幸山菜まつり | 20日 朝礼、政策調整会議 |
| 5日 議案検討庁議 | 21日 南会津地方町村长視察研修(～23日佐賀市・長崎市) |
| 6日 東北索道協会福島地区部会懇親会 | 25日 浅草岳山開き、JR東労組東京地本「定期大会」(郡山市) |
| 7日 地域人材育成ダイヤモンドプラン第9期生開講式 | 26日 「会津縦貫道」整備促進に係る地方要望(郡山市、仙台
市)、南会津地方振興局との懇談会 |
| 8日 只見川ライン観光協会総会、
奥会津五町村活性化協議会決算総会、
只見川電源流域振興協議会定例総会(金山町) | 27日 ユネスコスクール認定証授与式(只見小学校) |
| 9日 只見高等学校振興対策会議総会 | 28日 JR東日本本社次長来庁、
只見町勤労者互助会理事会・総代会、
一級河川只見川河川整備促進期成同盟会総会(金山町) |
| 11日 会津朝日岳山開き | 29日 (福)南会津会評議員会・理事会(南会津町) |
| | 30日 郵便局との提携に基づく意見交換会、
只見町農業再生協議会、只見町職員労働組合定期大会 |

町民の消息

(5月26日～6月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

一条 遥葵 (男/英昭・陽奈) 二軒在家
 横山 季以 (男/剛嗣・美沙子) 小林
 山内 強司郎 (男/翔・祐美) 二軒在家
 角田 智仁 (男/裕一・真梨子) 小林

■ご結婚おめでとうございます

福井 小西 伸♡菊地 梓之 只見

■おくやみ申し上げます

梁取 律子	88歳	坂田
五十嵐 英子	95歳	只見
横山 恒廣	76歳	楢戸

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成29年6月1日現在

人口 4, 338 (+ 2)
 男 2, 132 (+ 4)
 女 2, 206 (- 2)
 世帯数 1, 869 (+ 5)
 高齢化率 45. 26%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 5 出生 3 死亡 3

▽6月は、只見町にとって大きなニュースが2つありました。一つは、JR只見線が2021年度の再開通を目指して、県とJR東日本が「上下分離方式」で合意したこと。もう一つは、只見町と新潟県三条市を結ぶ国道289号「八十里越」工事区間が、2023年度の開通を目標に整備を進めるといふものです。この2つのニュースはこれまで、具体的な年次が示されていませんでしたが、今回の発表により、大きく前進したように感じられました。只見町の明るい未来が期待されます。

(三瓶)

あとがき

生涯学習推進員
三瓶昌恵

明和振興センター
図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★のっぼのスイブル155



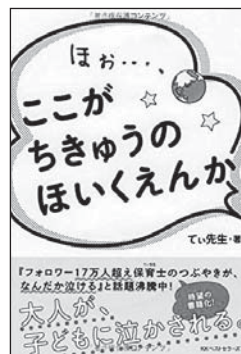
こもりまこと/著(偕成社)

「そうだ! ぼくは こんなところでもこうじができるんだ!」

東日本大震災をきっかけに息をふきかえたあるブルドーザーのものがたり。

2011年3月11日の地震による大津波でこわされてしまった、日本の港や橋。建設機械の会社の人たちは「いまこそあいつの出番だ!」と思い、1台の水陸両用ブルドーザー「D155W」(スイブル)の修理を思いました。すでに活躍の場も減り、ボロボロになっていたスイブルでしたが、14か月にもおよぶ大修理をへて、2012年冬、ほぼ新品となってよみがえります。こうして忘れられていた1台のブルドーザーは、ふたたび海や川で活躍することとなったのです。

★ほお…、ここがちきゅうのほいくえんか



てい先生/著(ベストセラーズ)

子どもたちの鋭い視点にハッとさせられることってありませんか。でも保育園では、それが日常茶飯事。男性保育士である著者は、そんな子どもたちの感性豊かな言動をメモしていました。それを SNS、ツイッターで紹介しはじめ、あっという間に大人気に。

「どうしてそう捉えた?」という笑えるエピソードから、涙腺が緩んでしまうかわいらしいエピソード、子どもならではの考え方にハッとさせられる言葉まで、笑顔になれる1冊です!

★その他、別棟、図書室(旧支所)にもたくさん本を置いております、利用時間は午前9時から午後4時までです。(土日祝日は閉館)ぜひご利用下さい。リクエストも随時受付しています。

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民章

スカッポ・スカンポ

[タデ科 ソバカズラ属]

ケイタドリ (学名: *Fallopia japonica var. uzenensis*)

オオイタドリ (学名: *Fallopia sachalinensis*)



▲ケイタドリの葉



▲群生するオオイタドリ

只見町でスカッポやスカンポと呼ばれている植物があります。これはケイタドリとオオイタドリのことで、「酸味のある、折るとポコッと音がする植物」というのが語源といわれています。

ケイタドリはイタドリの変種で、葉裏に毛が生えているためこのような名前がつけました。ケイタドリの葉は付け根が切りとったように平らになっているものが多く、オオイタドリの葉はハート形であるという点で両種は区別できます。また、葉の大きさもケイタドリが手のひら大ほどなのに対し、オオイタドリは人の顔以上の大きさになるものも多く、全体の雰囲気かくらんちが明らかに異なります。この2種は攪乱地せんくしよくふつに真っ先に生える先駆植物であり、本覧で3月号から続けて掲載している日本海要素植物です。

町内ではどちらも道ばたや川の法面、山奥までいたるところで見ることができますが、やや湿り気のある場所では旺盛おうせいに茂っているのを見ることができます。さらにオオイタドリは山奥の沢沿いなどを好み、溪流で大きな葉を広げて群生しています。

スカッポは、子供の頃おやつ代わりにした覚えのある方もいるのではないのでしょうか。生食もされるスカッポですが、有機酸の他にシュウ酸も含まれますので、生での多食には注意が必要です。

企画展示

「多雪地帯に生きる日本海要素植物」

期 間: 7月17日(月・祝) まで開催

場 所: ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

ブナセンター講座

「雪を味方につけた植物たち」

日 時: 7月15日(土) 13:30~15:00

場 所: ただみ・ブナと川のミュージアム セミナー室

講 師: 加藤英寿氏(首都大学東京・牧野標本館)

夏の観察会

「夏のブナ林で日本海要素植物を観察しよう！」

日 時: 7月16日(日) 10:00~12:00

観察地: 蒲生集落あがりこブナの森

集 合: 会津蒲生岳駐車場(9:30集合)

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください